

## 第205回簿記能力検定試験

## 上級 商業簿記 解答速報

## 問題1

(単位：円)

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	株式報酬費用	111,000	新株予約権	111,000
(2)	株式報酬費用	216,600	新株予約権	216,600
(3)	株式報酬費用	224,400	新株予約権	224,400

仕訳1組につき各4点=12点

## 問題3

## 損 益

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上原価	[ 1,650,950 ]	売上	2,454,000
給料手当	221,000	受取配当金	280
退職給付費用	[ 1,600 ]	受取利息	[ 10 ]
広告宣伝費	[ 4,200 ]	有価証券利息	[ 2,262 ] ※1
支払家賃	[ 3,600 ]	償却債権取立益	[ 800 ]
雑費	1,526		
貸倒引当金繰入	[ 3,000 ]		
減価償却費	[ 9,212 ]		
支払利息	[ 1,264 ]		
投資有価証券評価損	[ 1,000 ]		
法人税等	185,000		
繰越利益剰余金	[ 375,000 ] ※2		
	[ 2,457,352 ]		[ 2,457,352 ]

※1 2,261でも可。

※2 374,999でも可。

問題2

ケース1

(単位：円)

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	半成工事 ※1	284,000	材料費 労務費 経費	92,000 121,000 71,000
(2)	半成工事原価 ※2	284,000	半成工事 ※1	284,000
(3)	半成工事売掛金 ※3	384,000	半成工事収益 ※4	384,000

ケース2

(単位：円)

問題番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	半成工事 ※1	284,000	材料費 労務費 経費	92,000 121,000 71,000
(2)	半成工事原価 ※2	284,000	半成工事 ※1	284,000
(3)	半成工事売掛金 ※3	284,000	半成工事収益 ※4	284,000

※1 「未成工事支出金」でも可。 ※2 「完成工事原価」でも可。

※3 「完成工事未収入金」または「契約資産」でも可。 ※4 「完成工事高」でも可。

予想配点：  1つにつき3点×5=15点

1つにつき4点×1=4点

合計=19点

問題3

閉鎖残高

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	121,079	買掛金	51,000
当座預金	[ 379,200 ]	電子記録債務	[ 29,200 ]
売掛金	[ 125,700 ]	未払消費税等	[ 25,575 ]
電子記録債権	84,000	未払法人税等	[ 85,000 ]
商品	[ 192,050 ]	<b>未払金</b>	[ 400 ]
<b>未収利息 ※1</b>	[ 10 ]	未払リース債務	[ 3,961 ]
<b>前払家賃 ※2</b>	[ 1,200 ]	貸倒引当金	[ 4,194 ]
建物	150,000	リース債務	[ 13,363 ]
備品	[ 21,060 ]	退職給付引当金	[ 12,100 ]
土地	380,000	建物減価償却累計額	[ 40,000 ]
満期保有目的債券	[ 96,512 ] ※3	備品減価償却累計額	[ 4,212 ]
その他有価証券	[ 30,300 ]	資本金	[ 661,000 ]
長期性預金	1,200	資本準備金	100,000
		利益準備金	32,000
		繰越利益剰余金	[ 519,006 ] ※4
		その他有価証券評価差額金	[ 1,300 ]
	[ 1,582,311 ]		[ 1,582,311 ]

※1 「未収収益」でも可。

※2 「前払費用」でも可。 なお、※1※2は上下逆でも可。

※3 「96,511」でも可。

※4 「519,005」でも可。

予想配点：1つにつき3点×23=69点

## 第205回簿記能力検定試験

上級 会 計 学 **解答速報**

## 問題1

	正誤	理 由
1.	×	資本取引・損益取引区分の原則では、資本剰余金と利益剰余金を混同してはならないとしている。
2.	○	
3.	×	共用資産を加えることによって算定される減損損失の増加額は、原則として、共用資産に配分する。
4.	○	
5.	×	1株当たり当期純利益は、連結財務諸表においては、親会社株主に帰属する当期純利益をもとに算定する。
6.	○	
7.	×	ストック・オプションの付与に応じて企業が従業員等から取得するサービスは、貸借対照表の純資産の部に新株予約権として計上する。
8.	×	時の経過による資産除去債務の調整額は、関連する有形固定資産の減価償却費と同じ区分に含めて計上する。
9.	○	
10.	○	

予想配点：各4点

## 問題2

## 問1

会計は株主と債権者間の利害調整機能を果たすことが要請されており、株主への分配額を算定する際には換金可能性や処分可能性が求められる。

予想配点：8点

## 問2

売買目的有価証券は、売却することについて事業遂行上等の制約がなく、時価評価差額の実現可能性が高いと考えられる。そのため、時価評価差額を当期の損益として処理する。

予想配点：10点

## 問3

(1)	子会社株式について上場している場合には、上場していない場合と比較すると、売却により現金あるいはその同等物への転換が容易であるため、時価評価差額は「実現可能な成果」といえる。
(2)	子会社株式については、事業投資と同じく時価の変動を財務活動の成果とは捉えないという考え方に基づき、時価評価差額を認識しない。

予想配点：各8点

## 問題3

## 問1

電力会社は、他の業界と比較すると有形固定資産を多く保有しているため総資産が大きくなる。そのため、総収益を総資産で割ることにより計算する総資産回転率について、電力会社は相対的に低い業界に属するといえる。

予想配点：10点

## 問2

棚卸資産回転率の計算において分子に売上高を用いる場合、分母が棚卸資産で原価となっているのに対し、分子が売上高で原価に利益を加えた売価となっており、分母と分子で計算の基礎が異なる。そのため、分子に売上原価を用いる場合よりも回転率が高く計算されてしまうという問題がある。

予想配点：8点

## 問3

73 (日)

予想配点：8点

# ネットスクール WEB 講座のご案内

第 205 回全経簿記能力検定上級の受験、お疲れ様でした。

ネットスクールの WEB 講座では、今回の試験を受けてこの後の進路・学習についてアドバイスを行う各種“**無料説明会**”を YouTube Live にて配信いたします。

これから狙うべき資格や今後の学習についてご説明しますので、ぜひお気軽にご覧下さい。

イベント名	日時	内容
全経簿記上級受験者のための 日商簿記1級&税理士 WEB 講座 無料説明会	3月4日(金) 19:30~ (Live 配信)	第 205 回全経簿記上級試験に向けて学習した成果を活かして、この後行われる日商簿記1級や税理士試験に挑戦するための効率的な学習プランをお届けします。(担当:中村雄行)

※日程は予告無く変更する場合がございます。詳しくは、ネットスクールホームページにてご確認ください。

※Live 配信を行った無料説明会は、翌日以降オンデマンド配信も行います。

## WEB 講座画面イメージ

The screenshot shows a live lecture interface with four numbered callouts: 1. The instructor's video feed. 2. The chat window. 3. The whiteboard displaying a diagram titled '有価証券の分類' (Classification of Securities). 4. The status report area with buttons for 'え?' (I don't understand) and 'うん' (Yes).

ライブ講義では、  
チャットで質問OK

見逃しても大丈夫！  
オンデマンド配信

電話・メール・SNSで  
質問・相談受付

スマホ・タブレットでも  
受講できる！

### ① 講義画面

講義中に講師が映し出されます。臨場感あふれる画面です。

### ② チャット画面

講義中の講師に対してメッセージを書き込めます。「質問」はもちろんの事、「今のところもう一度説明して」等のご要望もOK！参加型の授業で習熟度がアップします。

### ③ ホワイトボード画面

板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ画面」や「テキスト画面」に講師が書き込みながら授業を進めます。画面は授業中にキャプチャができ、保存しておくことが可能です。

### ④ 状況報告画面

講義中、まだ理解ができていない場合は「え?」。理解した場合は「うん」を押していただくと、講師に状況を伝えられます。

▼無料説明会はこちら▼



【URL】 <https://www.net-school.co.jp/>

【お問合わせ】 0120-979-919(平日 10:00~18:00)